

CVT合格への長～い道のり

氏名： 田中延子

島根生まれの島根育ち

昭和 48 年 3 月

名古屋衛生技術短期大学（藤田学園）卒業

昭和 48 年 4 月～51 年 12 月

大阪第一病院

昭和 51 年 1 月～55 年 06 月

松江医師会センター

昭和 55 年 7 月～現在まで

島根大学医学部附属病院検査部



医大に就職してから生理を担当して 30 年、つい 7～8 年前までの仕事は、心電図、呼吸機能、脳波が主でしたが、その後、検査内容が飛躍的に増え続け、頸動脈エコーにたどり着いたときに、これは面白い検査だと思いました。その頃の超音波検査といえば、心臓、肝臓がメインでしたので、まだあまり本もなく、一度勉強に行っただけで検査オーダーが始まってしまいあせる一方でした。その後、著書も沢山出回るようになり、本だけが唯一の先生でした。

4 年前のことです。Vasucular Lab の本を開いたところ、血管診療技師認定試験の第 1 回の試験終了の記事が目に入り、こんな試験をしているんだ！・・・と、驚くと同時に、私も受験してみたいけど、いろんな不安がある中で、あたって砕ける精神で受験し、最初の年は砕け散ってしまいました。次の年、家族の協力(家事はホドホド)の甲斐あって、合格しました。今後は、Lab の一員として臨床側の要求に応えられるように血管検査の枠を少しずつ拡大し、もっと、自分自身を磨くと共に、後に続く世代を指導していきたいと思います。